

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S5 #25 Top 10 Japanese Historical Figures: Hideyo Noguchi

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

25

KANJI

1. 野口英世
2. 「努力だ。勉強だ。それが天才だ。だれよりも、三倍、四倍、五倍、勉強する者、それが天才だ。」という名言を残した野口英世。この言葉が示すようなすさまじい努力の末、ノーベル生理学・医学賞候補に3度もなった日本を代表する学者です。
3. 野口は1歳半の頃、いろりに落ちて左手に大火傷を負いました。後に、その左手の手術を受けた事をきっかけに、医者への道を志すように。伝染病などで困っている人々を助けるため、必死に研究を行い多くの成果をあげました。
4. 偉業を成し遂げた野口ですが、私生活ではかなり問題があったとも言われています。特にお金にはだらしがなく、借りたお金を返さないことなどはしばしば。渡米する前に料亭に友人を招いて宴を大々的に行った挙句、アメリカへ行く船の切符代すら払えなくなってしまったという逸話も残っています。晩年、自分自身の伝記を読んだ野口は、自分があまりにも立派な人物として書かれ、偉業のみが書き連ねられているのを読み、「これは作り話だ」と逆に不機嫌になってしまったのだとか。
5. 医学者として輝かしい業績を生み出した、努力一辺倒の研究生活とは対照的な、だらしない私生活。野口は人間としても大変興味深い人物ですね。
6. 残念ながら、野口の研究結果は現在では否定されているものが多いのも事実ですが、最初に挙げた言葉からも分かるように、並々ならぬ努力家であったのは間違いのないことでしょう。
7. 2004年からは野口が千円札の肖像になっています。お金にルーズだった野口がお札の肖像になるとはなんとも皮肉なめぐり合わせですね。

KANA

CONT'D OVER

1. のぐちひでよ
2. 「どりよくだ。べんきょうだ。それがてんさいだ。だれよりも、さんばい、よんばい、ごばい、べんきょうするもの、それがてんさいだ。」というめいげんをのこしたのぐちひでよ。このことばがしめすようなすさまじいどりよくのすえ、ノーベルせいがく・いがくしょうこうほに子どもになったにつぼんをだいひょうするがくしゃです。
3. のぐちは1さいはんのころ、いろりにおちてひだりてにおおやけどをおいました。のちに、そのひだりてのしゅじゅつをうけたことをきっかけに、いしゃへのみちをころざすように。でんせんびょうなどでこまっているひとびとをたすけるため、ひっしにけんきゅうをおこないおおくのせいかをあげました。
4. いぎょうをなしとげたのぐちですが、しせいかつではかなりもんだいがあったともいわれています。とくにおかねにはだらしがなく、かりたおかねをかえさないことなどはしばしば。とべいするまえにりょうていにゆうじんをまねいてうたげをだいでいきにおこなったあげく、アメリカへいくふねのきっぷだいすらはらえなくなってしまったといういつわものこっています。ばんねん、じぶんじしんのでんきをよんだのぐちは、じぶんがあまりにもりっぱなじんぶつとしてかかれ、いぎょうのみがかきつらねられているのをよみ、「これはつくりばなしだ」とぎゃくにふきげんになってしまったのだとか。
5. いがくしゃとしてかがやかしいぎょうせきをうみだした、どりよくいっぺんとうのけんきゅうせいかつとはたいしょうてきな、だらしないしせいかつ。のぐちはにんげんとしてもたいへんきょうみぶかいじんぶつですね。
6. ざんねんながら、のぐちのけんきゅうけっかはげんざいではひていされているものがおおいのもじじつですが、さいしょにあげたことばからもわかるように、なみなみならぬどりよくかであったのはまちがいのないことでしょう。

CONT'D OVER

7. 2004ねんからは のぐちが せんえんさつの しょうぞうになっています。 おかねに ルーズ だった のぐちが おさつの しょうぞうになるとは なんとも ひにくな めぐりあわせです ね。

ROMANIZATION

1. Noguchi Hideyo
2. "Doryoku da. Benkyō da. Sore ga tensai da. Dare yori mo, san-bai, yon-bai, go-bai, benkyō suru mono, sore ga tensai da." to iu meigen o nokoshita Noguchi Hideyo. Kono kotoba ga shimesu yō na susamajii doryoku no sue, nōberu seirigaku, igaku shō kōho ni 3-do mo natta Nippon o daihyō suru gakusha desu.
3. Noguchi wa 1-sai han no koro, irori ni ochite hidari te ni ōyakedo o oimashita. Nochi ni, sono hidarite no shujutsu o uketa koto o kikkake ni, isha e no michi o kokorozasu yōni. Densenbyō nado de komatte iru hitobito o tasukeru tame, hisshi ni kenkyū o okonai ōku no seika o agemashita.
4. Igyō o nashitogeta Noguchi desu ga, shiseikatsu de wa kanari mondai ga atta to mo iwarete imasu. Toku ni o-kane ni wa darashi ga naku, karita o-kane o kaesanai koto nado wa shibashiba. Tobei suru mae ni ryōtei ni yūjin o maneite utage o daidaiteki ni okonatta ageku, Amerika e iku fune no kippudai sura haraenaku natte shimatta to iu itsuwa mo nokotte imasu. Ban'nen, jibun jishin no denki o yonda Noguchi wa, jibun ga amari ni mo rippa na jinbutsu to shite kakare, igyō nomi ga kakitsuranerarete iru no o yomi, "Kore wa tsukuribanashi da" to gyaku ni fukigen ni natte shimatta no da to ka.
5. Igakusha to shite kagayakashii gyōseki o umidashita, doryoku ippentō no kenkyū seikatsu to wa taishōteki na, darashinai shiseikatsu. Noguchi wa ningen to shite mo taihen kyōmi buhai jinbutsu desu ne.
6. Zannen nagara, Noguchi no kenkyū kekka wa genzai de wa hitei sarete iru mono ga ōi no mo jijitsu desu ga, saisho ni ageta kotoba kara mo wakarū yōni, naminami naranu doryokuka de atta no wa machigai no nai koto deshō.

CONT'D OVER

7. 2004-nen kara wa Noguchi ga sen-en satsu no shōzō ni natte imasu. O-kane ni rūzu datta Noguchi ga o-satsu no shōzō ni naru to wa nan to mo hiniku na meguriawase desu ne.

ENGLISH

1. Hideyo Noguchi
2. "It's effort. It's study. That's what genius is. Studying three times, four times, five times as hard as anyone else—that's genius." The man who left us these famous words is Hideyo Noguchi. He is one of Japan's most important scholars who, as a result of the kind of tremendous endeavor that is apparent in these words, was nominated three times for the Nobel Prize for Physiology or Medicine.
3. When Noguchi was eighteen months old, he fell into a sunken fireplace and sustained a bad burn on his left hand. Later on, it was undergoing surgery on that left hand that inspired him to set his sights on the road to becoming a doctor. In order to help those suffering from infectious diseases, he devoted himself to his research and produced many results.
4. Noguchi attained great achievements, but it is also said that he had considerable problems in his private life. In particular, he was careless with money, he frequently didn't repay money he had borrowed, and so on. There is an anecdote in which, before going to America, Noguchi invited his friends to a grand banquet that he held at a traditional Japanese restaurant. Afterward, he could no longer even afford to pay for his ticket on the boat to America. Apparently in his final years, having read his own biography, which simply listed his great achievements and made him out to be an extremely great man, conversely Noguchi was annoyed, saying, "This is a fairy tale."
5. As a medical scientist, he made incredible achievements, while his private life, in contrast to his research life, which was completely focused on effort, was undisciplined. Noguchi is also very interesting as a human being,
6. While it is unfortunately true that many of Noguchi's research findings are now being repudiated, as you can see from the words I quoted at the beginning, it is surely undeniable that he was an extraordinarily hard worker.

CONT'D OVER

7. Since 2004, Noguchi has been the portrait on the thousand-yen note. It's rather an ironic twist of fate that Noguchi, who was so careless with money, has ended up the portrait on a paper money note, isn't it?

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
示す	しめす	shimesu	To denote, show, point out;V1
成し遂げる	なしとげる	nashitogeru	to accomplish, finish, fulfill;V2
学者	がくしゃ	gakusha	scholar
偉業	いぎょう	igyō	great enterprise, great exploits
名言	めいげん	meigen	wise saying, words of wisdom
必死に	ひっしに	hisshi ni	frantically, desperately, as if one's life depends on it
代表	だいひょう	daihyō	representative, delegation
だらしない	だらしない	darashinai	untidy, slovenly;Adj(i)
皮肉	ひにく	hiniku	sarcasm, irony
挙句	あげく	ageku	in the end, finally, after all

SAMPLE SENTENCES

<p>犬にボールを見せたら、興味を示した。 <i>Inu ni bōru o misetara, kyōmi o shimeshita.</i></p> <p>When I showed my dog a ball, he showed an interest in it.</p>	<p>この課題を成し遂げるまでは帰れません。 <i>Kono kadai o nashitogeru made wa kaeremasen.</i></p> <p>I cannot go home until I finish this task.</p>
<p>あの学者が唱える説は面白い。 <i>Ano gakusha ga tonaeru setsu wa omoshiroi.</i></p> <p>The theory advocated by that scholar is interesting.</p>	<p>彼は医療で偉業を成し遂げた。 <i>Kare wa iryō de igyō o nashitogeta.</i></p> <p>He accomplished great things in medical care.</p>
<p>有名な人の言葉はよく名言として残っている。 <i>Yūmei na hito no kotoba wa yoku meigen to shite nokotte iru.</i></p> <p>The words of famous people are often left behind as words of wisdom.</p>	<p>テストでいい点を取ろうと必死になって勉強した。 <i>Tesuto de ii ten o torō to hisshi ni natte benkyō shita.</i></p> <p>I studied as if my life depended on it in order to get a good score on the test.</p>
<p>サッカーで、東京都の代表に選ばれた。 <i>Sakkā de Tōkyō-to no daihyō ni erabareta.</i></p> <p>I was chosen as a soccer team member to represent the Tokyo Metropolitan area.</p>	<p>だらしない格好でパーティに行ってもはいけません。 <i>Darasinai kakkō de patī ni itte wa ikemaen.</i></p> <p>You must not go to a party with an untidy appearance.</p>
<p>彼の言葉は、皮肉に聞こえる。 <i>Kare no kotoba wa hiniku ni kikoeru.</i></p> <p>His words sound like sarcasm.</p>	<p>さんざん迷った挙句、ディズニーシーに行くことにしました。 <i>Sanzan mayotta ageku, Dizunishī ni iku koto ni shimashita.</i></p> <p>After much agonizing, I finally decided to go to Disney Sea.</p>

GRAMMAR

Motoko: オーディオブログ第5シーズン第25課 「野口英世」

Tomoyuki: こんにちは。ともゆきです。

Motoko: こんにちは。もとこです。歴史上の人物シリーズも最後になりました。

Tomoyuki: とうとう最後なんですね。今回は誰を紹介するのでしょうか。

Motoko: 野口英世です。 **Tomoyuki:** 有名な学者ですね。では、聞いてみましょう。

ブログ本文

Motoko: ということで、今回は野口英世でしたね。ともゆきさん、野口英世はご存知ですよ。

Tomoyuki: ええ、もちろん。黄熱病の治療に力を注いだ人ですよ。

Motoko: そうですね。野口と聞いて思い浮かぶものはなんでしょう。

Tomoyuki: そうですね、黄熱病のこともありますがけれども、例えば、英世のお母さんが英世が医学の道に進むということでものすごい努力をした人だというふうに聞いています。

Motoko: そうなんですね。じゃあ、けっこう野口英世はお母さんに応援されて「研究をがんばるぞー」「医者になるぞー」というふうに頑張ってたってことですかね。

Tomoyuki: そうですね。ちなみにもとこさんは何が思いつきますか？

Motoko: 私は身近なところで、お札の肖像画ですかね。

Tomoyuki: そうですね。福沢諭吉と同じですね。

Motoko: はい。ブログにもあるように2004年から野口英世が千円札になっています。それに千円札はよく使いますからね。

Tomoyuki: そうですね。見る機会が多いお札ですからね。

Motoko: はい。福沢諭吉を手にするにはたくさん働かなければいけません。でも、野口英世はたいていお財布の中に入っていますから。

Tomoyuki: まあ、福沢諭吉は1万円札ですからね。

Motoko: ブログの内容についてですが、野口英世は医学者として成功しましたが、私生活はあまりよくなかったみたいですね。

Tomoyuki: オーディオブログではアメリカに行く前に料亭で宴を行なったせいで切符が買えなくなったとありますね。

Motoko: 料亭は日本料理のレストランのことで、宴はパーティですよ。

Tomoyuki: 折角アメリカへ出発するのを祝うためのパーティを開いたのに、切符を買うお金がなくなってしまう・・・というのは、なんだか本末転倒な感じがしますね。

Motoko: 本当ですよ。切符を買ってから、あまったお金でパーティをしたらよかったですけどね。

Tomoyuki: ちなみに、野口英世はお金に関してよくないエピソードが多いみたいですが、自伝に関してはちょっと驚きました。

Motoko: いいことばかり書いてあったから「これは作り話だ」と怒ってしまったそうですね。

Tomoyuki: そうですね。僕だったら、いいことだけ、じゃなくてもいいと思いますけど、できるだけ多く書いてもらおうと嬉しいですね。

Motoko: そうですよ。「ともゆきさんはこんなにすばらしい人でした。」というふうに書いてある方が自分もうれしくなりますよね。

Tomoyuki: そうですね。

Motoko: でも野口英世はいいところだけではなくて、悪いところも含めた「本当の自分」を書いてほしかったってことなんじゃないかな。

Tomoyuki:そういうところでは、とても謙虚な人だったんでしょうね。

Motoko:もしくはお金にだらしないところなどの自分の短所も好きだったのかもしれませんが。

Tomoyuki:だとすると興味深い人ですね。

Motoko:研究熱心だった野口英世ですが、リスナーの皆さんには是非福島県猪苗代町(いなわしろまち)に行ってみてほしいですね。

Tomoyuki:ここは野口英世の「ふるさと」になりますね。

Motoko:猪苗代町 (いなわしろまち) には野口が生まれ育った家や通っていた学校、野口英世記念館があるんだそうですよ。

Tomoyuki:ちなみに小学校やお寺などいろんな場所に記念像もあるみたいですね。

Motoko:はい、そうらしいんですね。観光客用の地図っていうのもあるんですね。こう、イラストとかが載っている見やすい地図で、野口に縁のある場所を散歩しながら観光することができるみたいなんです。

Tomoyuki:それはいいですね。例えば、野口英世のお家とか、そういうところも？

Motoko:そうなんです。「ここがお家です」って書いてあるみたいな写真も載ってました。

Tomoyuki:そうですか。ただ福島県は東北地方ですから、冬は雪がたくさん降りますね。寒いのが苦手な人は、季節に注意した方がいいかもしれませんね。

Motoko:でも、雪の中を観光するっていうのも楽しいと思いますけど…。

Tomoyuki:たしかに！「雪や寒さを気にしない」という人は、猪苗代には温泉もあるみたいなので、雪を見ながら温泉に入る・・・というのなかなか、おつでたのしいかもしれません。

Tomoyuki:今回は、野口英世という有名な学者を紹介しました。

Motoko:残念ながらオーディオブログ第5シーズンは今回が最終回です。

Tomoyuki:最終回・・・ちょっとさびしくなってしまうですね。

Motoko:そうですね。あっという間でしたね。

Tomoyuki:あっという間でした。最後まで聞いてくださってどうもありがとうございます。また次のシーズンでお会いしましょう。それでは、また。Motoko:さようなら。